

令和3年度 第1回 清瀬市男女共同参画センター運営委員会 議事録

日時:令和3年8月18日(水) 午前10時~12時

会場:生涯学習センター 講座室1

委員出席:7名

桑山委員長、上木原委員、木村委員、池田委員、土屋委員
今村委員、渡辺研委員

委員欠席:5名

吉川委員、菊池委員、渡邊正委員、小野委員、松山委員

事務局:原口センター長、高田係長、小林専門員

センター長より挨拶

コロナの影響でアイレックの開館時間、市の事業が縮小されているところだが対策を講じながらアイレックの運営をしたいと思っている。出席している委員の皆さんから意見を是非よろしく願いたい。

各委員自己紹介

組織改正並びに人事異動の関係で渡辺研委員が委員に就任した。また事務局も今年度4月から新規に小林男女共同参画専門員が着任したため紹介をした。

議題

【令和2年4月~令和3年3月までの事業報告】

前回、事務局より内容説明を行ったため割愛。

【令和3年4月~令和4年3月までの事業予定、報告】

事務局より内容説明を行った。事務報告参照

続いて、きよせコワーキングスペースことりばの説明を行った。

委員長

事業報告について意見は。コワーキングスペースの予算額は。

センター長

7,500,000円で可決されている。

委員

コワーキングスペースの利用者の人数についての報告が欲しい。

センター長

月ごとに報告をもらうことになっている。今月の報告はまだまだ。目視での確認であるが、コワーキングスペースについては 22 席設置しているところ時間帯にもよるが平均5席程度の利用があるようだ。Wi-Fi を利用して PC での作業をしている人が多い。または資格取得のための勉強をしている。コロナの対策をとりながらの利用を考えているところだが、現在の利用頻度では十分なのではないか。報告については委託業者から上がってきたものを提供したい。

委員長

今年度3月に予定されている次の実行委員会では詳細の報告をもらいたい。運営は無人で行われるのか。

センター長

日々の利用は防犯カメラにより遠隔で確認が行われる。入場について事前に登録された QR コードを利用して行われるので利用者の特定もできる。月一回くらいの頻度でチャレンジ相談会というイベントを開催する。その際には委託先の職員が来場する。現時点では職員常駐ということではなく非接触型で運営を行う。

委員長

奥のレンタルスペースの貸し出し状況は。

センター長

8月6日で申込みを締め切ったと聞いている。次に申込内容の審査を行い、使用内容や収支を見てから貸し出しを行う。

委員

営業時間が9時から 22 時となっているが。

センター長

通常は上記時間で営業する。緊急事態宣言中はコロナ対策としてテレワークスペースでの使用も想定している意義から国の示す 20 時まで開館とする。そのことに対する苦情は入っていない。

委員長

相談の件数について一般相談と DV 相談の件数が伸びていないようだが。

事務局

DV 相談の先生に聞いたところ清瀬では、その傾向が見られる。緊急事態宣言

下で加害者が同居のケースだと相談しづらいのではないかという分析。解除後に件数が増えている。

センター長

緊急事態宣言期間またセンターが完全休館であってもアイレック相談は実施していた。DV相談について4月は1件ののみであったので理由を相談員に聞いたところキャンセルが多かったとのことであった。確かに少数ではあるので申込み方法等について相談員や相談員連絡会議等で検討を進めたい。また国や都等の相談制度の周知も積極的に行っている、そちらに流れた部分もあり得る。

委員長

子ども家庭センターの状況は。

委員

緊急事態宣言発令に伴って大きく動いたという話は聞いていない。

センター長

アイレックと子ども家庭センターは連携が取れている。虐待の話が出れば子ども家庭センターに状況提供し、DVの情報が出ればアイレックと連携を行っている。相談員から直接、情報のやり取りを行っている。

【分科会について】

パートナーシップ制度検討、子どものためのガイドブック改訂の各分科会について出席委員より検討内容、進捗状況の報告を行った。

委員

子どものためのガイドブック改訂で出た性教育の話について、ウイズアイでは清瀬市から委託をうけて赤ちゃんのカプロジェクトを実施している。ピッコロとも連携をとりながら進めていて、小学校で性教育や赤ちゃんとの触れ合い等の事業を行っている。性教育については教育委員会と打ち合わせをして清瀬に合った内容に調整している。この事業ともつながりを持ってないか。

委員

今の意見についてだが自分は学校コーディネーターを拝命している。学校から依頼を受けて出前授業等の調整も行える。教育委員会から依頼はないが個人的には性教育の出前授業には関心があった。今回ウイズアイの活動内容を初めて聞いてコーディネーターの会議でも活動を紹介して欲しいとの感想を持った。

【その他】

専門員

今まで男女共同参画週間や人権週間にちなんだ講座は行われているが、3月の国際女性デーに合わせたものを検討するよう、まつり実行委員会より提案があった。また、11月の女性に対する暴力撤廃週間では全国的にパープルライトアップが行われ各地の様子がホームページに掲載されている。いずれも清瀬での実現に向けて検討したい。

委員

3.11 追悼キャンドルのように、紫色のキャンドルを灯してはどうだろうか。5名ほどの協力がいただければ実施したい。

委員

是非、協力したい。

専門員

また国立女性教育会館(NWEC)の男女共同参画推進フォーラムに過去、参加実績があると聞いたが今年は12月にオンラインで開催予定だ。可能であればオンラインでのパネル展示を行いたいと検討中だ。

委員

コロナの影響で市の事業もなかなか実施できない中で、実施の可否について事業ごとの均衡がとれない状況だ。一件一件、事業内容や状況を精査しながら実施している。何についても検討は必要なので、打ち合わせ等についてはzoom等も活用しながら進めていきたい。

委員長

講座の開催している中、年配の参加者が多い。若者の参加者が増えるような工夫が必要だ。

また、副委員長についてだが吉川委員が事情で出席が難しいことが多いので木村委員に副委員長代理という事で就任してもらいたい。

委員

全委員了承